

家庭学習のすすめ

壬生町立壬生東小学校

各種の調査から、本校の児童は、**着実に学力を付けていること**、そして、それを確かなものとする**家庭学習の習慣が定着**してきていることが分かりました。今後も御家庭において、趣旨を御理解の上、子供たちに「**確かな学力**」を身に付けさせるために、家庭学習にぜひ御協力ください。

「とちぎっ子学習状況調査 質問紙調査」から
・ふだん（月～金曜日）、学校の授業時間以外に、1日にどのくらい勉強しますか。

（平成29年度）

	2時間以上	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	その他
本校5年(%)	17.6	29.4	35.3	13.2	4.4
4年時との比較	+7.3	0	+10.3	-17.6	0
県5年(%)	17.7	40.0	32.2	8.3	1.8
本校4年(%)	17.8	17.9	55.4	7.1	1.8
県4年(%)	17.9	29.9	37.3	12.1	2.8

家庭学習の意義



- 学習内容の基礎・基本が身に付く。
- 自ら学ぼうとする意欲や態度が育つ。
- 生涯にわたって学び続ける態度の基礎が養われる。
- 社会的自立の基礎が養われる。

本校における家庭学習の狙いと具体策

- 「**確かな学力**」を身に付けさせる。
- 「**学ぶ姿勢の基礎**」をつくる。
- 「**分かる**」・「**できる**」**喜び**を味わわせる。
- 「**楽しんで学ぶ**」きっかけをつくる。



《とちぎっ子学習状況調査 質問紙調査から》

「『家で、学校の授業の復習をしている。』、『家で、テストで間違えた問題について勉強をしている。』の質問について、教科平均正答率との関連を見ると、全ての学年（小4・小5・中2）で、学んだことを振り返る習慣が身に付いている児童生徒の方が、教科平均正答率が高い傾向が見られる。」と報告されています。

自主学習では、計画的に取り組む予習・復習と合わせて、授業で学習したことやテストで見つかった課題などをすぐに復習することが大切です。



《学習時間について》

- ・低学年 20～30分
- ・中学年 40～50分
- ・高学年 60分程度 が目安です。

- ・宿題にかかる時間はお子さんによって違うので、早く終わってしまう場合は、自主学習に取り組むように話しています。宿題+自主学習で各学年の目安の学習時間以上になるように声を掛けています。

《宿題について》

- ・目的をはっきりさせています。
- ・学習の仕方を助言しています。

《宿題》では、こんなことを・・・

○ 国 語

- ・漢字ドリルを活用しての漢字練習、確かめ
- ・授業で習った表現方法を使った短文作り
- ・日記や作文←（行事や特別なことがあったとき）
- ・音読練習（しっかりやれたときには、授業に臨む態度も意欲的になり、反応や理解がスムーズになります。）
- ・10分間読書（本に親しむ態度・習慣の育成を図ります。）



○ 算 数

- ・計算ドリルによる計算練習、採点、間違い直し（やれる子は、2回目、3回目と繰り返し挑戦し、力を付けてきています。）
- ・プリント（結果から基礎・基本の定着状況や応用力を見ます。個別指導が必要な場合は指導します。）
- ・教科書の基本問題の練習、復習

○ 社 会 ・ 理 科

- ・調べやまとめ、観察記録、調査など（家でも一人でできそうなことのみ）

《自主学習について》・・・自分で考えて学習するものです。

- ・学年に応じ、お子さんが自分の学習を振り返り、足りないところや興味関心があるものなど自ら取り組めることを目標にしています。

中学生になるまでに自ら学ぶ習慣の土台作りを。

- ★自分で決めて
 - A…やりたいこと（興味・関心があることや発展的な学習）
 - ※語彙や知識を広げ、表現力・思考力を高めるために。
 - B…やらなければならないと思うこと
 - （足りないと思う基本練習や苦手なこと）
 - ※学習の基礎的な技能を確実に身に付けるために。

- ★自分に合った方法（スタイル）を見付けていくことが大切です。

1回やって覚える子、間を空けて繰り返すことで覚える子等、様々ですから・・・。

- ★できると良いのはこんなことです。

- A…語句の意味調べ、熟語調べ、ことわざ調べ
観察記録、日記、読書（感想文）、手伝い
担任が勧める発展的な学習や知りたいこと調べ
- B…授業の復習、テストで間違えた問題についての勉強
漢字、計算、音読、リコーダー、縄跳び等の練習



